

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成30年 学校教育だより

September **9** 第338号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線623)



林間学校 山頂でのお弁当の味は最高だね！

写真提供／針ヶ谷小学校

夜

ホタルぴかいちろう

ぼくは気が弱い

運動も勉強も苦手だ

こわい物はとくに苦手だ

けれど夜になって

光る事には自信がある

いつかは月のように

ピカーンと

目がまぶしくなるような

明るいそんざいになりたい

作 つるせ台小学校 四年

大塚 優人

第二次富士見市教育振興基本計画がスタートしました

本市教育委員会は、「学びあい 人がつながり 一人ひとりが輝く 富士見の教育」を基本理念として、第一次教育振興基本計画に基づき、昨年度までの5年間でさまざまな教育施策に取り組んでまいりました。

今年度からスタートした第二次教育振興基本計画は、第一次計画の基本理念や基本方針、基本目標を継承し、現状における課題の整理や今後想定される社会情勢等の変化を踏まえながら、第五次基本構想、後期基本計画や平成二十九年年度に策定された教育大綱を基に、中長期的な展望にたった本市がめざすべき教育の基本的な方針とそのための施策を改めて明らかにし、今後の5年間を見通した計画としています。

策定にあたっては、富士見市教育振興基本計画審議会や市民の皆さま（パブリックコメント）からいただいたご意見を参考にさせていただきました。

基本理念

「学びあい 人がつながり 一人ひとりが輝く 富士見の教育」

子どもから大人まで、それぞれの世代が、学びあいを通して、人と人とのつながりをもち、ともに励ましあい、高めあい、支えあう人間関係をつくり、一人ひとりが輝く富士見市の教育をめざします。

一人ひとりが輝く の教育

学びあい 人がつながり 富士見

平成三十年度の主な取組

基本目標1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成
・埼玉県学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査の結果に基づく検証改善サイクルの確立を図り、児童生徒一人ひとりを認め、励まし、ほめる教育を行うことにより、確かな学力の定着を図ります。

特別支援教育

かかわりの中で

西中学校 教諭 金子 詩織

みとせ学級の生徒たちのかかわりの中で、「人は人の中であらう」ということを感じる。

学校生活という小さな社会の中で、集団のルールを守って生活しなければならぬ。みとせ学級の生徒たちには、自分なりのルールやこだわりがあり、スムーズに物事を進めることが苦手な生徒もいる。そのようなとき、交流学級の生徒たちが必ず声を掛けてく

関沢小学校 6年 清水 冠奈



私は、ミニバス大会を終えて、チーム、クラス、学年、そして針ヶ谷小学校との絆を強めることができました。今日は、チームでだれもファールがなく、チームメイトのパスは正確で、捕りやすく、男子のシュートはたくさん入りました。1試合目は勝ち、2試合目は負けてしまいました。1、2、3組の応援が体育館に響いていました。跳べ跳べコールがまとまっていて、すごかったです。この団結力を他のことにもつなげていきたいと思っています。長なわ、音楽会、修学旅行、そして卒業式で、クラスと学年の絆の強さと団結力を発揮したいです。

ミニバス大会を終えて

今日は負けてしまいました。1、2、3組の応援が体育館に響いていました。跳べ跳べコールがまとまっていて、すごかったです。この団結力を他のことにもつなげていきたいと思っています。長なわ、音楽会、修学旅行、そして卒業式で、クラスと学年の絆の強さと団結力を発揮したいです。



めざす市民像

基本理念の実現に向けて富士見市がめざす市民像を次のように掲げます。

☆生涯にわたって学び、考え、行動し、心豊かに生きる人
☆学びあいから交流の輪を広げ、信頼しあい、地域の絆を強くむむ人
☆学びの成果を生かして、自ら社会に参加し、郷土（まち）の未来を拓く人

基本方針

- I 学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進（学校教育）
II 学びあう地域社会をめざす教育の推進（社会教育）
III 組織の総合力を生かした教育の推進（教育行政）

基本目標

- 1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成
2 人との交流や感動体験を通した豊かな心の育成
3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健全な体の育成
4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進

・二年後に小学校から順次全面実施となる学習指導要領の改訂を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」となる授業が展開できるよう、全教職員を対象に、指導力向上研修会を実施します。

基本目標2 人との交流や感動体験を通した豊かな心の育成
・教育大綱の基本理念を踏まえた「いのち」を大切にす

る教育については、市内全校において、助産師による

て気持ちのよいあいさつができるように、姿勢・声の大きさ・目線に意識を向けた指導を行っている。普段は支援をもらうこともある彼らだが、時には誰かを助けることができるような力をつけていきたい。彼らの頑張る姿が、他の誰かの刺激となって欲しい。

「いのち」をテーマにした講演等の実施をはじめ、「特別の教科 道徳」や「総合的な学習の時間」など、学校教育の様々な場面を通して推進します。

・富士見市いじめ防止基本方針に基づき、諮問機関である富士見市いじめのない学校づくり委員会における委員の意見等を踏まえ、教職員の資質を高めるとともに、富士見市いじめのない学校づくり子ども会議における児童生徒の主体的な取組を通して、いじめのない学校、学級づくりを支援します。

基本目標3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健全な体の育成
・児童生徒の健全な体の育成について、重点課題を敏捷性の向上とし、教師用手引き「富士見スタンダード」を活用した授業研究会や実技研修会等を通して体育授業の充実・改善を図り、児童生徒のさらなる体力向上

に努めます。

・通学路の安全について、地域の皆様の協力を得ながら、登下校時等、児童生徒の安全確保に努めるとともに、学校や関係課と連携した通学路安全点検を実施し、児童生徒が安全・安心に登下校できるよう見守ります。

基本目標4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進
・市内全学校に設置されている学校応援団や学校運営支援者協議会など、地域の人材や教育資源を生かした「特色ある学校づくり」、保護者や地域の声を取り入れた「地域とともにある学校づくり」を推進します。

・小中一貫教育について、これまでの西中学校区と水谷中学校区での研究を踏まえ、富士見市における小中一貫教育の基本方針を定め、各中学校区を中心に取組を進めます。



県の学力・学習状況調査の一分析結果から、学力の向上には、基礎・基本の定着だけでなく、頑張ればできるという自尊感情や、お互いの違いを認め合える学習環境などの重要性もわかってきました。

本校では、自尊感情の向上を目指し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業研究を行う一方、学校行事における生徒たちの自主的な活動、特に学年を越えた交流を



自尊感情の向上を目指して

富士見台中学校

推進しています。

一学期に行われた体育祭では、三年生が中心となって五色の応援団を結成しました。自分の団だけでなくお互いの応援を覚えてエール交換を行い、最後には全校生徒が一つの輪になって「愛しむぜ台中」を熱唱しました。

写真はその約一ヶ月後に行われた学校総合体育大会の壮行会です。学年や性別を超えて肩を組み、励まし合う集団



へと成長しています。このような体験が、活気ある富士見台中の土台となっています。

私が、富士見市に住み、早くも半世紀が過ぎました。諏訪小学校の開校と同時に私の妻が交通指導員となりました。私は、長年勤めた会社を定年退職し、毎日退屈でした。そんな時に、当時の町会長さんの誘いを受けて、町の防犯活動に参加するようになりました。それから十四年が経ち、現在も続いています。

振り返ってみると、様々な出来事に出会いました。一番は、東日本大震災です。正門前の信号は、停電のため作動しませんでした。その影響で、スピードを落とさず通過する車が多く、危険な状態が続きました。困ったなあと思っていたところに、数人の先生方が横断旗を手に駆けてつけてくれました。そして、協力して子どもたちが横断歩道を無事に渡る事ができるようになりました。

次に、私がシヨックを受けたことが、登下校中に起きた他校での事件や事故です。先日も新潟県で小学生が事件に



巻き込まれ犠牲になってしまいました。幸いといつてよいのか分かりませんが、この十年間、諏訪小では登下校中に事件や事故は起きていません。これからは子どもたちが安全に安心して登下校できるようにするために、地域の皆さんの協力が必要です。一人でも多くの皆さんが、見守り活動に参加してください。よろしくお願いします。

私は、今年で八十歳になります。これからも健康に注意し、この仕事を続けていきたいと思っています。

登下校の安全を見守り続けて

諏訪小学校スクールガードリーダー 太田 操

共に成長を

勝瀬中学校 保護者 石谷 隆之

我が家には、二人の息子がおり、中学三年の長男と中学一年の二男がいます。私がラグビーのコーチをしている影響か、二人とも幼少期よりラグビーを始め楽しんでます。毎週末に家族で通っているため、家でも日々話をしていくので、二人の日常がよく分かります。

私はよく考えさせられる事があります。それは、息子をコーチしていると成長を妨げている事があのように思えるからです。他の子と同じように接しているようでも実は接しきれておらず、指導の言葉にも違いが起きています。息子達も素直に聞いてくれる時もありますが、最近はムスツとした顔もします。それは段々と色々な事を覚え、成長しているため、自分の考えがあるのだと思います。スポーツでは、どんなプレーにしても間違はないと思います。その時に自分で考え、最善のプレーをしています。しかし、



私の考えと違うと声を荒げてしまう。それも正解だけど、こういうプレーもあるのではと問いかけをするべきではないか。その一言が重要と感じるようになりそうです。

二人はこれからも多くの事を学びます。スポーツ、生活勉強と。そして、私も多くの言葉を言うでしょう。その時二人の成長を止めるような言葉を言うのではなく、一回りも二回りも人として成長できる言葉を選び言う事で、私も成長しながら息子二人の大きな成長を望みたいと思います。

教育課題特集

生きる力を

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

楽しく取り組む外国語活動の推進

水谷東小学校

水谷東小学校では、今年度から富士見市教育委員会の委託を受け、人と人の関わりを大切に、豊かに表現できる児童の育成」を楽しく取り組む外国語活動の授業づくりをテーマに研究に取り組んでいます。

授業の中では、アクティブティの機会を多く設けることで、児童の発語数を増やしたり、コミュニケーションをとりする活動を多く設定して

います。外国語での会話に戸惑う児童もいますが、担任やA・E・Tと楽しく取り組んでいます。

児童ができたこと、頑張ったことに対しては、教師は「Good job」や「Very good」など積極的に称賛します。そうすることで人と関わること、外国語を話すことに自信をもってほしいと考えています。

今後も、外国語の研究を通して、生きる力の基盤となる



人との関わりを大切に、豊かに表現できる児童をはぐくんでいきたいと思っています。

母の背中

水谷小学校 保護者 扱木 道代

母親業といわれる家事があるのならば私は相当サポートしています。そんな私が、娘の幼稚園年長で初めて役員になりました。その後小学校PTA本部・育成会・放課後児童クラブなどの役員を兼任も含め受け続けました。土日も仕事をしていたので、我が子とかわる母としての時間は圧倒的に少なかったと思います。もしかししたら、母親としての務めを果たせないまま娘は小学六年生、息子は中学三年生になりました。

様々な方々とお話できる機会が楽しく役員を続けてきましたが、ふと思うことがありました。息子の小学校卒業式、PTA本部役員として祝辞を読み上げているとき、「なぜ私は役員を続けているのだろうか？」と。そして「母としてみてもできたことがあったのではないかと、後悔しました。しかし、息子と娘の



南畑小

みんなの心が一つに♪「南畑鼓笛隊」

市や地域のお祭りへの参加に向けて、6年生が一丸となって練習に励んでいます。運動会でも演奏します。聴きにきてください！



富士見台中

進路学習会～高校の先生を招いて

公立と私立の先生と卒業生2名を招いて実施しました。夢のある話と現実がバランスよく、生徒にも保護者にも好評でした。



つるせ台小

チームの心を一つに～大玉送り

運動会の勝敗は、最後の大玉送りにかかっています。それぞれのチームで、この一戦に全力を注いで頑張りました。



富士見特別支援学校

富士見魂で全力疾走

先日、5月22日(火)に熊谷スポーツ文化公園陸上競技場にて、埼玉県特別支援学校陸上競技大会が開催され、本校高等部から9名の生徒が参加しました。



水谷中

全力の演技！全校「よさこいソーラン」

体育祭名物「よさこいソーラン」は、地域の方に毎年楽しみにしていただいています。今年から5月開催となった体育祭、短い練習時間でも全力の演技と全校の団結を見せることができました。



ふじみ野小

本が大好き！ブックトーク！

本校の児童は本が大好きです。市図書館の方が、ブックトークをしてくれました。今年はビブリアトルにも参加します。

一年の真ん中の学期である二期がスタートしました。一学期でその学年の基礎的なことを身に付け、二期はそれを深める学期になります。行事や学習を通して、その深められた成果を発揮していくことになりま。子どもたちが達成感を得られたときの表情は、とてもすがすがしいものです。学校の中で、そのような表情がたくさん見ることができるよう各学校の教職員で努力していきたいと思。各学校で、地域の方々のお力を借りる場面も多くなりま。ご支援をどうぞよろしくお願いします。



鶴瀬小

鶴瀬小145周年おめでとう！

児童会が中心となり、祝賀会を開きました。卒業生（前市長・星野信吾さん）の話を、クイズをして盛り上がりました。



本郷中

あなたのでリサイクル

7月1日、PTAと本校の生徒で資源回収を行いました。多くの人が集まり大きな力となりたくさんの資源が集まりました。



水谷小

笑顔の飛び交う「わんぱくまつり」

縦割りグループで協力して、お店を開くおまつりです。6年生を中心に、お互いを思いやる気持ちや協調性をよくむね組をしています。

大人も読みたい子どもの本

「べんぎんたんけんたい」シリーズ等で知られる作家・斎藤洋は、著書「童話作家はいかが」の中でこんな文章を書いています。「伸縮自在で、デザインさえ気に入ってもらえれば、着やんかから百歳を越える年よりでも着ることができる服があったら、けっこう売れるのではないかと思う。児童書とはそういう服のようなものだ。」児童書は子どもだけのものではありません。大人だからこそ楽しめる児童書の世界があります。子どもに本を読んでもほしいと思う大人がまずやるべき事は、自分が本の扉を開く事。どんな本を選べよいか迷うという方は、まずはこんな本はいかがでしょうか？

『うちにあかちゃんがるまれるの』
いとうえみこ／文 伊藤泰寛／写真
ポプラ社
自宅出産をするまでの伊藤一家を写真と文章で綴ったノンフィクション絵本。作者自身が被写体となり作られた本なので、あかちゃんを待つ兄妹の表情や出産の場面から命の温かさが自然と伝わってきます。家族で一緒に読みながら、お子さんの産まれた時の事を、ぜひ話してあげてください。

『かさねちゃんにきてみな』
有沢佳映／著 講談社
小学生が主人公で学校が舞台の小説は星の数がありますが、この本はその中でも「通学版」という切り口で、現代の子どもの姿を活かして描いています。八人の個性的な通学班メンバーたちの会話がとにかく面白い。子どもも大人も思わず笑ってしまう場面の連続です。物語の中心となるのは、回文と古代文明を愛するカリスマ班長のかさねちゃん。ふつよりとくべつ、がまんがで、それがリュウセイだ、となんとなく受け入れている。そんな風になつたのかさねちゃんが班長だからこそ。魅力あふれる八人の子ども達の姿に、大人が学べることがたくさんあった一冊です。

読書の秋に、ぜひご家族一緒に読書を楽しんで下さい。そして、様々な本と出会いに図書館へお越しください。約四十二万冊の富士見市立図書館の蔵書の中からお気軽にのりの一冊を見つけてみてはいかがですか？

富士見市立中央図書館
神山 友香

教育委員会だより

○平成30年度学校総合体育大会 県大会・関東大会・全国大会 結果

本郷中学校 水泳 男子100m平泳ぎ
中谷 駿斗 (3年)
県大会5位 関東大会出場

本郷中学校 水泳 男子200m平泳ぎ
中谷 駿斗 (3年)
県大会5位 関東大会出場

東中学校 男子バレーボール
県大会優勝 関東大会ベスト8 全国大会出場
吉沢 将吾 鬼塚 瑛大 木幡 昂平 小林 愛翔
大村 優太 武宮 琉太 原田 翔宇 中桐 真渚斗
島村 健斗 黒田 悠斗 伊東 聖翔 伊東 幸輝

東中学校 卓球 女子シングルス
山崎 真優菜 (3年)
県大会3位 関東大会出場

勝瀬中学校 卓球 男子シングルス
狩野 耕助 (3年)
県大会優勝 関東大会5位

西中学校 水泳 女子100mバタフライ
守友 晃子 (3年)
県大会1位 全国大会出場

西中学校 水泳 女子200mバタフライ
守友 晃子 (3年)
県大会1位 全国大会出場

勝瀬中学校 硬式テニス 女子シングルス
角田 智 (3年)
県大会ベスト8 関東大会出場
橋本 沙耶 (3年)
県大会ベスト8 関東大会出場

勝瀬中学校 硬式テニス 女子ダブルス
角田 智 (3年) 橋本 沙耶 (3年)
県大会準優勝 関東大会ベスト4 全国大会ベスト16



二年二組勝瀬っ子自慢

勝瀬小学校 教諭 関 孝紘



私は本校へ四月に着任しました。新しい学校・新しい子どもたち……。わくわくドキドキだった一学期を振り返り、二年二組の自慢を紹介したいと思います。

ツジボールや竹馬、一輪車、鉄棒などに取り組んでおり、暑さに負けずに額からたくさん汗をかきながら、遊ぶ姿はとても素晴らしいです。自慢②・・・団結力。

できます。また、友だちが間違えた答えを発表してしまつたときには、「失敗は成功のもとだよ!」と、すかさず友だちを励まします。友だちを励まそうとする優しい気持ちに

とても感動しました。それ以降、その言葉がクラスのちょっとした流行語になりました。自慢③「もくもく清掃」、自慢④「給食の配膳が上手」、自慢⑤「ミニトマト名人」など、自慢したいことはたくさんあります。何事も積極的にチャレンジしたい!という二組の子どもたちの気持ちを大切にしながら、「仲よく 本気で 最後までがんばる子」である勝瀬っ子を育てていきます。

編集日記

六月の大阪北部地震や七月の西日本豪雨など、自然災害がたくさん起こった一学期。夏休みに入ってから、熊谷市では、国内観測史上最高となる四十一度を観測し、いこの危険を感じる暑さが続きました。いつどこで、どんな危険に遭うかわからないと感じる毎日です。

そのような中、子どもたちが夏休みを元気に過ごし、またいつものように学校に登校してくる姿を見られるのは、本当にうれしいことです。夏休みの間に日頃できない経験を、一回りも二回りも成長し、たくましくなった子どもたちの顔は、ほこらしげに輝いています。

今年度から、市内小・中・特別支援学校で、「いのちを大切に授業」の取組みが始まりました。一つのいのちがこの世に誕生するのは、並大抵のことではありません。

子どもたちがいのちの誕生のすばらしさを知り、自分のいのちや他の人のいのちの大切さについて考えるよい機会になると期待しています。

そして、どんな困難にあつても、いのちを大切に、くじけず前を向いて生きていける「生き抜く力」をもった子どもたちを、学校・家庭・地域のみならず、ともに育てていきたいと思

(辻口)